

次に、議席3番、須藤信吉君。

〔3番 須藤信吉君登壇〕

○3番（須藤信吉君） 皆さん、こんにちは。傍聴者の皆様におかれましては、引き続き傍聴いただきましてありがとうございます。議席番号3番、須藤信吉でございます。ただいま議長より発言の許可がありましたので、通告書に基づき、2点4項目の一般質問をさせていただきます。執行部の誠意あるご答弁をよろしくお願いいたします。

最初に、プラスチッククーポン券による経済効果及び売り上げ分析、各業種ごとについてお伺いいたします。平成18年11月9日臨時会におかれまして可決され、平成18年12月1日から平成19年3月31日の4カ月間実施されましたが、クーポン券7,000冊、金額にして7,000万は好評のうちに12月末完売と聞いております。これによる経済効果及び売り上げ分析について、現在わかる範囲で結構ですので、お願いいたします。前回の臨時会におきまして、町から450万円の助成金が出されるということにおきまして、経済効果、どのようなのがあるのか、この辺のものを精査をして報告をできますということ聞いておりますので、その辺がどの辺まで解説されているのか、報告をできればお願いいたします。

それから、今後の対応ということですが、私なりにこのクーポンについて、牛久と境町のクーポン券の利用実績というものを分析させていただきました。これを見ますと、境町で、業種別で見ますと一番の売り上げが自動車、自転車、バイク、この金額が2,277万3,000円、牛久市では344万9,000円、2番目が大型店、境町は大型店で1,127万、牛久市では1,283万6,000円、3番目は酒、スーパー、ディスカウント、これが747万4,500円、牛久が384万4,000円となっております。牛久市のベストスリーの売り上げを見ますと、1位がガソリン、石油、これで3,193万5,500円、境町で見ますと687万500円、2番目が衣料品、寝具、スポーツ用品、これが2,656万3,000円、境町でいきますと463万3,500円、飲食業が2,090万7,500円、境町が300万1,000円です。この辺の分析をしていきますと、人口の相違はあろうと思うのですが、牛久市で見られるガソリン、石油が1位、境町では自動車、自転車、バイク等の利用金額が2,270万となっております。この辺の分類をしていけば、今後の商店街との話し合いにおいてどのような改善をやっていただければと思いますので、その辺の町としての考えをお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、圏央道及び国道354バイパスについて、①、進捗状況についてお伺いしたいと思います。圏央道は、首都中心部から40から60キロメートルの位置に計画されており、横浜、厚木、八王子、川越、つくば学園都市、成田、木更津などの中核をなす都市を連結するとともに、東名高速、中央道、関越、東北道、常磐道、東関道などの放射線状の幹線道路を結ばれ、東京湾アクアラインともつながって、首都圏の広域幹線道路網を形成する延長300キロの環状の自動車専用道路となっております。圏央道は、東京郊外の都市と都市を道路によって結ぶことによって交流や連携を促進、今後の首都機能の再編を、産業活力ある向上等を図る上、欠かすことのできない基幹施設だと言われております。このような夢のような高速道路の早期開通を地域住民は期待しておりますので、国道354バイパスにおいても、

現在の進捗状況と平成24年開通の見通しにおいてもお願いいたします。

2番目のインター付近の開発計画ですが、平成24年開通するとしたときに、あと5年ぐらいの時間しかありません。この辺におきまして、町としてこのインター付近の開発計画をどのように考えられておられるのかお伺いしたいと思います。

以上、2点4項目について最初の一般質問とさせていただきます。

○議長（田山文雄君） ここで暫時休憩をします。

休憩 午前11時53分

---

再開 午後 1時00分

○議長（田山文雄君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

ここで、13番、稲葉穆君より、本日の午後の会議を欠席する旨の届け出がありましたので、ご報告いたします。

午前中行われました須藤信吉君の質問に対する答弁を求めます。

町長、野村康雄君。

〔町長 野村康雄君登壇〕

○町長（野村康雄君） 須藤議員さんのご質問にお答えをさせていただきます。詳細につきましては産業建設部長の方からお答えをさせていただきたいと存じますが、概略についてお答えをさせていただきます。

第1回目のクーポン券の経済効果、売り上げ分析ということでありまして、これにつきましては、第1回目ということもありまして、まず売れるかどうか、これが最大の懸案であったと、このように思っております。幸い、12月1日から12月28日までに完売をすることができたということ、まず第1段階としてはこの事業は成功であったであろうと、こういうふうな解釈をさせていただきます。

先ほど売り上げ別に出ておりましたけれども、既に商工会では決算書を発表しております。業種別に全部、売り上げが比率まで含めて出されております。議員さんご指摘のとおり、自動車関係、自動車、バイク、自転車ですか、これが一番多かったということにつきましては、それぞれ商工会の内部で詳細、券の流れというのは商工会の中で全部わかるようになっているわけです。どなたが買ってどういうふうに流れたという経緯は番号で全部、多分わかるようになっておりますので、それらについての分析はなされているものと、このように理解をいたしております。ただ、町では、町が主催ではありませんので、町はあくまでも補助金を出している立場でありましたから、今のところそこの分析結果の報告は受けておりません。ただ、今年度もぜひ実施したいということですので、とりあえず7,000万が完売できて、7,000万が利用されたということは少なくとも商業の振興あるいは活性化に若干なりとも寄与できたものと、こういう理解をして本年度も補助として予算を組ませていた

だいております。

特に先ほど議員さんの分析で、牛久はガソリンとか石油、灯油等で1番、境は自動車、バイク、自転車が一番と、これは共通しているような気もするのですが、ただ、売り上げというより券の発行額、昨年度は牛久は1億5,000万円やっています。境は7,000万ですから、その差の比率だけでいきますとどういう結果かわかりませんが、いずれにしても、それぞれのいわゆる主催したところ、境の場合は商工会ですが、分析をされた中で今後の事業は進められていくものと、このように聞いております。先ほどの自動車の件にしても、会長と若干お話ししたのですが、商工会長なんかは次は5万円で切ろうかなんという話もしていましたから、そういう協議が今後多くの人にできるだけ回って、一般的に使えるような方策を多分考えていって、そういう話を今後詰めていきたいと、このように考えております。

それと、圏央道の進捗状況であります。これにつきましても産建部長の方からお答えをさせますが、先般、4月ごろだったと思いますけれども、北首都の国土交通省の所長が参りまして、町長から前々から何度も言われている、橋を早くかけてくれという件について、19年度着工する予定でいたのだと。ところが、漁業組合というのが利根川の中に五つあるのだそうです。そちらとの話し合いがつかなくて、もしかしたら橋の工事は来年からになってしまうかもしれない、ただ、塚崎側の一部、今回工事に入りたいというふうな話を伺っております。国土交通省としては、平成24年度までには全線開通をさせたいと、絶対したいと、そういう意向を所長からは伺っております。

さらに、インター付近の都市計画でありますけれども、これは実は私、毎週、毎日ぐらい、境町の地図を眺めて、どこをどういうふうにやろうかということをやっているのですが、なかなかうまい土地がありません。これらについて、けさも都市計と一緒に協議をしていたのですが、開発する土地というのが、残念ながらなかなかうまい場所がないのです。それらを含めると、せいぜい35町歩ぐらいのところを何とかできるかどうか、これからコンサルに頼んで調査をして取り組んでまいりたいと思っております。

いかんせん、しみじみ地図を眺めて、人口地図等見ていただくとよくわかるのですが、例えば塚崎の西高が廃校になると、あそこを含めたあの近辺は何とかできるのではないかと、いろいろ考えているのですが、面積的に場所がないのが現実なのです。これだけは、先ほども申し上げましたけれども、立地条件というのはだれにも変えることはできませんので、これらをよく検討しながら、平成24年度に向けてどのような開発ができるかということを含めて今後コンサルを含めて検討してまいりたいと、このように考えておりますので、よろしくご理解のほどをお願いしたいと存じます。

○議長（田山文雄君） 次に、産業建設部長。

〔産業建設部長 齊藤時雄君登壇〕

○産業建設部長（齊藤時雄君） それでは、須藤議員さんのご質問にお答え申し上げます。

まず初めに、プラステン券についてのご質問でございますが、プラステン事業につきましては、消

費者の利便を図るとともに、低迷する消費需要の喚起、個人消費の拡大、さらに消費流出の防止による町内商業の活性化を目的として、境町商工会が事業主体となって行った事業でございます。町としても、昨年、商工会の意向を受けた中、商工業の振興、活性化につながるものと考え、補助事業として取り上げております。

今回のプレミアつき商品券プラステン事業は新規事業でありまして、発行額面総額7,700万円、商工会会員460事業所中、加盟店登録数279事業所の参加がございました。平成18年12月1日より販売し、1カ月で完売したわけでございます。それは、完売できたということは、町民に対しても大きな反響を呼んだことと、また商工会の活性化、消費拡大の一翼を担ったことと思います。今後の対策であります。本年度も議員さんのご理解を得まして、商工会の意向を受けた中、当初予算に同額予算を計上させていただきました。昨年の経過を踏まえた中で、商店街の活性化の起爆剤となるよう事業を進めてまいりたいと考えております。また、一店逸品運動、経営能力開発事業など商工会の事業を推進するとともに商工業の活性化事業の推進を図ってまいりたいと、このように考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

次に、圏央道及び国道354バイパスの進捗状況についてのご質問にお答え申し上げます。圏央道につきましては、平成24年度全線開通に向けて進んでいるところでございます。茨城県内全長71キロメートルのうち、平成19年の3月10日につくば牛久インターチェンジから阿見東インターチェンジまでの12キロメートルが開通しました。平成15年に開通したのと合わせますと13.5キロメートルとなります。当町の付近につきましては、埼玉県境から（仮称）つくばインターチェンジまでの間で平成6年度に事業化され、平成24年度開通を目途に事業を推進しているところであります。当町内は、最終年度の平成24年度の開通の予定でございます。

進捗率につきましては、埼玉県境から境インターチェンジ（仮称）の間で、平成16年より用地買収に着手し、町内で3月末現在で、面積ベースで用地取得率で80%、境インターチェンジ（仮称）よりつくばインターチェンジ（仮称）につきましては、現在、設計説明会の開催に向けて、国では道路設計並びに関係機関との協議を進めているところでございます。

国道354でございますが、これは県事業でございます。バイパス改良事業であります。平成13年度に6.3キロメートルが事業化されました。主要地方道結城野田線から一般県道若境線までの2キロメートル区間については、平成16年度までに道路の設計や用地測量の一部を実施し、平成19年度は町道1の7号線までの940メートルを重点区間として用地買収に着手する予定となっております。平成18年度までの進捗率は約6%でございます。

また、圏央道インターチェンジ付近の都市計画については、先ほど町長がお答え申し上げておりますので、省略させていただきます。

以上でございます。

○議長（田山文雄君） ただいまの答弁に対し再質問ありますか。

須藤信吉君。

○3番（須藤信吉君） 町当局の説明におかれまして、クーポン券の取り扱いですけれども、先ほど売り上げについて、境町においては1番、2番、3番で大体50%以上の売り上げを上げていると思うのです。大体三つで50%以上ということは、今後この3点が重点項目でなってくるのかなと、あとは4番目がガソリンスタンド、ガソリンスタンドの690万、5番目が薬、薬局、ギフト関係の580万、6番目で衣料品、スポーツ用品の460万、こういう売り上げを見ていきますと、今年度も、19年度も予算を組まれまして、12月1日から同様に実施をされると思うのですけれども、この辺と比較をすれば、境町の販売される、動いている商品の物流関係がある程度は洗い出されるのかなと、こう思われますので、その辺も、今年度の売り上げについても、1回と2回目の売り上げ分析をしていただいて、3回目には、3年計画ということを知っていますので、3年度には本当に実のあるクーポンにしていきたいなと思っています。

あと、このクーポンに関してですけれども、クーポン券ののぼりは上がっているのですけれども、上がっていて、来るのを待っているとか、本来であれば商店街の活性化のためにやられたと思うのですけれども、これは住民の満足だけではなくて、同時に各商店街の人たちの活性化を図るための改善をしていただきたいと、そして、その辺も踏まえて2回、3回と内容のあるものにしていただきたいなと思っています。

それから、圏央道、354関係ですけれども、圏央道につきましては、平成24年度の全線開通ということにおきまして、町長の方から、耳で聞くのではなくて目で見えるものを実施していきたいと。先ほど答弁がありましたけれども、利根川の橋の工事を先にやりたいというふうにもありましたけれども、答弁の中で漁業関係のものにおいて1年遅れるということで、平成20年度にはその橋桁がかかるということで、その辺は……も踏まえていると思います。

この辺、私が質問いたしましたのは、圏央道のインター付近の開発、これについては多分、議会の全協においても、3月の全協のときに意見として、行革で財政の改革、リストラとか補助事業のカットとか、そういうものではなくて、本当に税収アップのための明るい材料もやっぱり討議をしていこうということも図られまして、そういう意見も出ていましたので、踏まえて圏央道の開発計画はどうなっているのか。確かに都市計画図を見ますと、本当にそれだけの土地があるのかと思われましても、その辺も再度検討していただいて進めていっていただきたいなと思っています。あと、西高の跡地も出ましたけれども、その辺も同時に、計画性があるのであれば、その都度聞かせていただきたいなと思っています。

私のクーポン券と圏央道につきましては、先ほどの町長の答弁、あとは産業建設部長もありましたけれども、それでご答弁いただいたことで、私の質問はこれで終わらせていただきます。

○議長（田山文雄君） これで須藤信吉君の一般質問を終わります。